

小泉八雲とセツ 怪談の世界

長沼町図書館

図書館の特集コーナーで展示、貸出しています。一部のご紹介です。

怪談 光文社古典新訳文庫

ラフカディオ・ハーン著 南條竹則訳

「耳なし芳一の話」「むじな」「ろくろ首」「雪女」…。日本をこよなく愛したハーンが、古来の文献や伝承をもとに流麗な文章で創作した怪奇短篇集。昆虫エッセイ「虫の研究」も収録。



怪談・奇談 角川文庫クラシックス

ラフカディオ・ハーン著 田代三千穂訳

芸術味豊かな 42 篇

骨董 さまざまの蜘蛛の巣のかかった日本の奇事珍談

ラフカディオ・ハーン作 平井呈一訳 岩波文庫

「怪談」と並ぶハーンの名作。日本各地に伝わる伝説や怪談を再話した 9 篇からなる「古い物語」と、ハーンの死生観・哲学的思想が顕れる 11 篇の随筆による小品集。解説付き

セツと八雲

小泉凡著 木元健二聞き手 朝日新聞出版

孤独な幼少期を経て日本にやってきたハーンと、没落した武家の娘・小泉セツの出会いにより生まれた再話文学の世界。夫婦の歩みと、紡ぎ出された作品の豊かな世界、その現代性を、ひ孫が語り尽くす



小泉八雲 日本の霊性を求めて 別冊太陽 日本のころ

池田雅之監修 平凡社 2022

怪談や神話について多数の著書を遺し、日本人のころを世界に伝えた小泉八雲。その八雲の目を通して、日本文化の深層を見つめる。写真も多数掲載。



ヘルンとセツ

田淵久美子著 NHK 出版 2022

明治 23 年、ニューヨークから来た作家ラフカディオ・ハーンと、武家の娘として生まれるが、明治維新により困窮の底に沈んでいたセツ。2 人の奇跡の出会い・共同作業から「怪談」が生まみ出される過程をドラマチックに描いた小説。



ラフカディオ・ハーン 日本のころを描く

河島弘美著 岩波ジュニア新書 2002

ギリシア生まれのハーンが日本で見たものとは？

彼の目を通して日本の心を見つめ直す

夢の途上 アメリカ編ラフカディオ・ハーンの生涯

工藤美代子著 集英社 1997

アメリカ時代の八雲に多大な影響を与えた美貌の女性ジャーナリスト、ビスランドとの交流を軸に、若きラフカディオ・ハーンの実像に迫る、迫真のノンフィクション

さまよう魂 ラフカディオ・ハーンの遍歴

ジョナサン・コット著 文藝春秋 1994

小泉八雲になるまえのハーンを知っていますか？元祖ヒッピーとしての光を当てて描く好評伝。裏街のフィールド・ワーカー、小泉八雲になる前のハーンの人間像を浮き彫りにする。

因果ばなし 八雲えほん 1

円城塔翻案 中川学絵 東雅夫編 岩崎書店

病におかされ、死のふちにいる大名の妻。唯一の心のこりは、妹のようにかわいがっていた側室のゆきこのことだった。妻の最後の願いにゆきこは…。二人をめぐるおぞましい因果。

